

**飛騨高山もりのエコハウス推進協議会**  
**第3回プロポーザル最優秀提案者との意見交換会 記録**

■日時：平成21年10月2日（金） 16:00～18:30

■場所：高山市役所 2階 203会議室

■次第：

1. 開会
2. 第2回全国会議（9/28・29）について
3. 基本設計・修正案の説明
4. 意見交換
5. 地熱ヒートポンプ方式のランニングコスト（融雪装置）に関する説明
6. 意見交換
7. その他
8. 閉会



■基本設計・修正案に関する決定事項

- ・平面計画案は、承認された。
- ・設備機器について、「自家発電以外の電気に頼らないエコハウスで新政権が目指すCO<sub>2</sub>25%削減」に寄与することとし、各々の設備機器は、融雪及び冷房は、地熱ヒートポンプ、給湯はペレットボイラー、暖房はペレットストーブとする（今回は、地熱ヒートポンプで給湯としたが、一般普及の促進を図る観点から修正）。
- ・エコハウスの主たる用途は、「住宅展示場」とし、宿泊利用も住宅展示場の用途内で納める。

■基本設計・修正案に関する意見交換（要旨）

**【通気】**

出席者． 横胴縁は、通気工法となるか？通気層の確保が必要ではないか？

設計者． 通気工法は考えていない。約20mm強の空間を通気層とできないか検討したい。

出席者． 現場発砲ウレタン対応で、密閉性が高いことから、通気性をどこまで確保できるか疑問。

設計者． 内装に珪藻土の壁を採用するため、調湿作用は期待できると考えている。

**【断熱性能】**

出席者． 設計の修正案で外皮断熱をⅢ地域基準地としているが、Ⅱ地域ではないか？

設計者． Ⅱ地域の基準で設計する。

事務局． 設計レビューで確認されることになる。

**【材料】**

設計者． 土台は栗、柱は檜等を想定しているが、地元の乾燥材確保は可能か？

出席者． 必要な材料の規格が決まれば、おそらく在庫対応は可能。

事務局. 地元産材の証明はできないのでは？

出席者. 県産材の目視対応となるだろう。

出席者. 地元で乾燥した木材の調達を諮る際の発注方法は？

事務局. 特定の事業者に偏ることのないよう、必要な材料が調達できることを期待している。

事務局. 材料の乾燥 25%の根拠は？

出席者. 長期優良住宅では 25%、現場搬入時に 20%と記載できると対応しやすい。その際は、簡易な乾燥チェックとならざるを得ない。

### 【外観デザイン】

出席者. 外壁材に使用を検討される縦羽目板は、凹凸の凹部の加工で生ずる木材のロスがもったいない。節のある材料を加工する場合、相当量のロスが見込まれる。

設計者. 提案している外壁材を、今後の地場産品として商品化できないかとも考えている。

### 【その他】

設計者. 冬期間の施工にあたり、とくに外壁材の乾燥について、場合によっては建物の全てを熱気が逃げないように仮囲いすることも検討する必要があると考えている。

事務局. 太陽光発電や地熱ヒートポンプなど、エコハウスで使用する設備機器について、来訪者がエネルギー利用状況（例. 発電量等）を確認できるメーターパネル（モニター設備等も選択肢の一つ）の設置を検討する。

設計者. エコハウス内の照明設備は、応接室で集中管理（制御）できるよう設計する。

事務局. 備品リストは、設計者からの提案を受け、環境省の判断を仰ぐ。その他、電気設備の配置等は高山市と設計者で協議。

外壁の仕上げを乾式工法にすることで工期の短縮を図ってほしい。

### 【今後の進め方】

- ・設計案に対する意見交換機会は本日を最終とし、今後は設計者と発注者（市）で作業を進める（設計レビューは外部審査員が担当）。

以上